



# 学校だより 3月 第387号

令和5年3月1日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

## かがやき ひびきあう 六つ西の子

学 校 長

いよいよ3月、年度末を迎えましたが、なかなか終息の見えなかったコロナ禍も少しずつ明るい兆しが見え始めています。

学校にとっても、私たちにとっても、これまでの3年間は、激動の時代となりましたが、新たな時代の幕開けとなる、そんな予感もしています。

今年度の六つ川西小学校は「かがやき ひびきあう 六つ西の子」の学校教育目標を一段と意識し、様々な教育活動において子どもたちの「かがやく姿」(必要感・達成感)「ひびきあう姿」(相手意識・目的意識)をイメージした教育実践に取り組んできました。

「自分に自信をもち、自分らしさを発揮しようと主体的に取り組む子は、自然と友だちのよさにも気付くようになり、人と通じ合い、対話を通して響き合えるようになるのではないか」そんなゴールイメージをもちながら

お:おきあって      つ:つながって  
に:にっこり笑って      し:しっかりと

「おつにし」の合言葉を伝えてきました。

横浜市の生活意識調査では、六つ川中ブロック全体で「自分には、よいところがある」と答える子どもたち(6年生)の割合が、ここ数年で上昇しています。

たいへん嬉しいことですが、未だ約25%近くの子どもたちは、「どちらかというと思わない」「そう思わない」と答えています。

子どもたち一人ひとりが、自分のよさに気付き、自信をもって生活し、人々と響き合い、豊かな人生を切り拓いていくことができるよう、学校、家庭、地域が一体となって、これからはしっかりと取り組み、支援と配慮をしていく必要があります。

先日、「卒業式にマスクの着用を求めない」新たな方針が横浜市教育委員会から示されました。

「卒業式の教育的意義を考慮すること」や「卒業式は厳粛な雰囲気の中で行われ、児童生徒においては、歌唱等を除き、大声を発する機会や対面で会話をする場面がほとんどないことから、一定の感染症対策を講じた上で実施すれば、感染リスクが低いと考えられること」が、その理由となっています。

しかし、その通知を受け、六つ川西小学校の6年生を対象にアンケートを実施したところ、約75%近くの子供たちは、「マスクを外したくない(45%)」「どちらかという外したくない(30%)」と答えました。「不安」「心配」「怖い」「恥ずかしい」「中学校のスタートが遅れるのがいや」「今更…」など、その理由は様々ですが、(最後まで友だちの顔を見たい)「外したい(5%)」と回答した子どもの割合を大きく上回っていました。

今後の知見や社会情勢を受けてこの数値は、変化すると思いますが、3年間のコロナ禍が、ここまで大きく子どもたちに影響していたことを、思い知らされる数値結果となりました。

6年生の子どもたちには、自信をもって堂々と卒業式に臨んでもらいたいと思っています。

マスクのあるなしではなく、残りわずかな小学校生活をどのように過ごし、最後にどのような卒業式を迎えたいのか。子どもたちに日々問いかけながら、全ての6年生の子どもたちが、安心して卒業の日を迎えることができるよう、十分に支援をし、配慮をしていきたいと考えています。